

# 被災地の聴覚障害者知って

映画の上映の前に手話で観客に語りかける今村彩子  
監督＝岐阜市橋本町のハートフルスクエアI・Gで



東日本大震災で被災した聴覚障害者の体験や苦勞を描いたドキュメンタリー映画「架け橋 きこえなかった3・11」の上映会が二十八日、岐

## 「架け橋」の監督 今村

岐阜市橋本町のハートフルスクエアI・Gであり、監督の今村彩子さん(36)＝名古屋市長緑区＝が作品への思いを語った。

(宇佐美尚)

## 岐阜で上映会、思いを語る

自身も耳が不自由なユーを通して、津波警 告障害者の男性が主人  
今村さんは、手話を交 報を知らせるサイレン 公。一時は過勞で倒れ  
えながら取材の過程や に気付かなかったこ た男性が元氣を取り戻  
見どころを紹介。約百 と、避難所での指示や して、笑顔で走る映像  
二十人の来場者に「地 案内が分からなかった が印象的だ。五月にド  
元といていい岐阜で こと、電子メールが使 イツであった日本映画  
上映会ができて幸せ。 えず情報が得られなか 専門映画祭のニッポン  
映像を見て、皆さんも ったことなどの問題点 ビジョン部門では三位  
架け橋になってほし が浮き彫りになった。 の評価を受けた。今村  
い」と呼び掛けた。 映画では、これらの点 さんは「被災地にも聴

震災発生後、大被害 を「命にかかわる情報 覚障害者がいたことを  
に埋もれがちな聴覚障 に格差があつてはなら 知ってもらつのが最  
害者の存在も知ってほ ない」と訴えている。 初。そこから聴覚障害  
しいと取材に向かっ 今回の作品は、仲間 者の不自由さに気付い  
た。被災者のインタビ の支援に走り回った聴 てほしい」と話した。